

[005]アジア総合政策センター紀要表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/17943>

出版情報：九州大学アジア総合政策センター紀要. 5, 2010-06-30. 九州大学アジア総合政策センター
バージョン：
権利関係：

九州大学アジア総合政策センターの閉所と センター紀要刊行終了のお知らせ

九州大学アジア総合政策センターは、躍動著しい現代アジアを総体的にとらえ、有益かつ有効な政策提言につながる調査・研究の推進等を目的として2005年7月に設置され、これまで様々な活動を続けてまいりましたが、2010年6月末日をもって5年の期限を迎え、その活動を終了することになりました。

この間、アジアが直面する諸問題についての共同研究とその成果の社会への還元、行政当局に対する政策提言などに重点を置いて活動してきました。中でも、メディア文化、産業連携、高齢化対応、越境環境問題、食料問題、医療・生命倫理など多分野にまたがる日中韓の国際シンポジウムの連続開催、東南アジアからの看護・介護労働者受け入れなど「越境ケア」関連の国際共同研究、文学者の感性を通じて現代アジアの実情を表現する「SIA」（アジアに浸る）プロジェクト（2010年9月まで継続予定）などで、多くの成果を上げることができました。

当センターの活動終了に伴い、アジア総合政策センター紀要の刊行も終了します。最終号となる本号では、2009年10月に福岡で開催の第4回日中韓シンポジウムの開催報告のほか、国際共同研究が進展したケア関連の論文16本を収録の特集を組みました。また、センターの活動業績の一覧も掲載いたしました。

なお、九州大学のアジアに関する情報や、平成22年7月1日以降の本センターに係る情報に関しましては、本学国際部のホームページ（<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/index.htm>）に掲載することとしていますので、引き続きご利用頂ければ幸いです。

関係者の方々のこれまでの温かいご支援・ご協力に対し、深い感謝を申し上げます。

九州大学アジア総合政策センター長
大野 俊